

令和4年3月月例会句会 会報・HP掲載句

兼題：草餅、柳絮、当季雑詠

草餅の色深く見ゆ輪島塗	石原 克己
草餅の野の香と色を手に乗せて	城戸崎雅宗
摘み刻の指の遺り香草の餅	佐藤 政百
まず籠に草餅を入れ道の駅	安井 正浩
柳絮舞う池のみぎわの地藏様	中山 知祐
柳絮舞ひ底石霞む高瀬川	森 邦彦
神田川柳絮は薄く映りたる	川田 勝美
柳絮舞う古都の流れに人力車	大仲 正敏
障害児負うて登るや婆の春	眞田 宗興
	以上